



Release

フランクフルト・アム・マイン

2020年6月2日

ドイツ銀行、初のグリーンボンドを発行

ドイツ銀行（銘柄コード XETRA: DBKGn.DB / NYSE: DB）は、初のグリーンボンドを資本市場において成功裡に発行しました。当行のグリーンボンドは6年満期で、発行総額は5億ユーロ、クーポンは1.375%です。この発行による調達資金は、再生可能エネルギーの拡大など、当行のサステナブル・プロジェクトのリファイナンスに限定して使用されます。当行は、本年5月半ばにグリーンボンドに必要なフレームワークを設定し、当行としての具体的なサステナビリティ目標を設定しました。

CEOのクリスティアン・ゼーヴィングは次のように述べています。「当行によるグリーンボンドの発行は、当行のサステナビリティ戦略において更なる重要な施策です。数少ないグローバルな金融機関の一つとして、当行は低炭素経済への変革を支援することができると考えており、またそれを希求しています。グリーンボンドは、当行にとってもまた当行の顧客にとっても、一つの重要な手段となります。」

当行のグリーンボンドのためのフレームワークでは、債券を担保する資産および調達資金の用途が規定されています。「グリーン」資産には、環境基準およびサステナブル基準に従って設立・構成された、再生可能エネルギー、省エネルギーおよびいわゆる緑の建築（Green Building）の分野の企業、資産またはプロジェクトに対する貸出金や投資が含まれます。

当行のフレームワークは、国際資本市場協会（ICMA、2014年以降サステナブルボンド市場において先導的役割を担っている資本市場参加者による業界団体）のグリーンボンド原則に従っており、更にサステナブル投資に関する欧州連合の将来の分類システムであるEUタクソノミーのテクニカル専門家グループによる最新のガイドラインにも従っています。

ドイツ銀行について

ドイツ銀行は、個人顧客、中小企業、事業法人、各国政府および機関投資家に対し、リテール・バンキング、プライベート・バンキング、コーポレート・バンキング、トランザクション・バンキング、融資および資産運用の商品およびサービス、ならびに焦点を絞った投資銀行業務を提供しています。ドイツ銀行は、欧州に深く根ざしつつグローバル・ネットワークを有するドイツ有数の銀行です。

本リリースには、将来の事象に関する記述が含まれています。将来の事象に関する記述とは、歴史的事実ではない記述であり、ドイツ銀行の考えや予想、およびその基礎となる前提が含まれます。これらの記述は、ドイツ銀行グループの経営陣が現在入手可能な予定、推定および計画に基づいています。従って、将来の事象に関する記述は、あくまで当該記述がなされた日現在のものであって、当グループはこれらの記述に関して、新しい情報や将来生じた事象があっても、これを更新して公表する責任は負いません。

将来の事象に関する記述は、その性質上リスクおよび不確実性を含みます。従って、いくつかの重要な要因が作用して、実際には将来の事象に関する記述に含まれるものとは大きく異なる結果となる可能性があります。これらの要因には、ドイツ、ヨーロッパ、米国および当グループが収益の相当部分を上げ、資産の相当部分を有するその他の地域における金融市場の動向、資産価値の推移および市場のボラティリティ、借り手または取引相手による将来の債務不履行、当グループの経営戦略の実施、当グループのリスク・マネジメントの方針、手続および方法への信頼性、ならびに米国証券取引委員会（SEC）への情報開示に関連するリスク等が含まれます。このような要因については、SECに提出した当グループの2020年3月20日付年次報告書（Form 20-F）の「リスク・ファクター」の表題のもとで詳しく記載されています。当該報告書の写しは、請求により入手可能であり、また www.db.com/ir からダウンロードすることができます。